



富川高だより

通巻第62号

<http://www.tomikawa.hokkaido-c.ed.jp>



北海道富川高等学校
日高町富川西12丁目69-109
電話：01456-2-0411
発行日：令和元年10月1日(火)

高文連報告

『一人ひとりが主役になれる学校』



9月5日(木)～6日(金)2日間、本校の美術部と書道部が高文連の支部大会に出場しました。支部大会の会場が、美術部はえりもで、書道部は浦河であったため、両部活とも間に宿泊を挟んでの大会参加となりました。

美術部は、部員9人と本校の中でも人数の多い部活のため、日々楽しく(時に騒がしく・・・)活動をしています。作品締め切りギリギリまで必死に試行錯誤をしていた分、上の写真に写る部員の顔にはどこか安堵の様子がうかがえます。えりもでは部員全員で晩ご飯を食べて、より親睦が深まりました。

一方書道部は、部員1人の部活のため、顧問と2人で日々活動しております。顧問も書道を専門としているわけではないため、より良い作品にするにはどうすべきかを共に考えながら支部大会まで頑張ってきました。部員が1人ということで、支部大会の会場では、様々な先生から助言を頂いたり、激励を頂いたり今後の活動に繋がる経験ができました。

支部大会の結果、美術部から1年生が1名、書道部から2年生が1名、奨励賞を受賞し、全道大会へ参加することが決まりました。本校では、大所帯の吹奏楽部、部員1人の野球部の知名度が高いのですが、他の部活に所属する生徒も青春を懸けて日々活動しております。

書道部 全道大会 10月9日～11日 (旭川)

美術部 全道大会 10月3日～4日 (伊達)

今年度は特に、「1人ひとりが主役になれる学校」のキャッチフレーズを用いています。少人数であることを最大限に前向きに捉え、生徒一人ひとりが活躍できるようにこれからも、学校全体で取り組んでいきます。

一日体験入学

8月22日(木)本校にて中学生一日体験入学が行なわれました。6つの中学校から総勢90名の中学生、保護者の方に参加していただきました。少しでも、富川高校の良いところが伝わっていると幸いです。最後に行ったアンケートの中で、「まだ、進学先を迷っている」と答えた中学生の皆さんが約3割ほどいたので、高校選びのヒントを高校側からお伝えします。

① 高校で何をしたいかを具体的に考えましょう。

部活動に力を注ぎたいのか、勉強に力を注ぎたいのか、新しいことに挑戦したいのか、何ごしたいのか決まっていれば高校選びはスムーズでないでしょうか。どこの高校でも、「高校でこんなことをやりたい!」という意思をもつ中学生は大歓迎です。

富川高校は、『**一人ひとりが主役になれる学校**』ですから、一人ひとりのやりたいことに合わせて学校生活を送ることができます。

② 高校卒業後のプランを少しでもいいので考えましょう。

高校に入学してもいないのに、卒業後のことを考えろだなんて少し無理があるかもしれませんが、大事なことです。地元で就職をするのか、本州の大学へ行くのかそれだけでも大きな違いですね。自分の将来から、逆算して高校を考えるというのも一つの視点です。

③ 情報収集をしっかりとしましょう。

通学にかかる時間や、高校の特色、進路実績など高校のホームページを見ると多くの情報が掲載されています。学校比較の際は、是非高校のホームページを見てみてください。中学校の先生方は、高校に対して多くの情報をもっているはずですが、身近な大人に相談するのもよいでしょうね。

～富高の教育活動



本校3学年キャリアビジネスコースは地元「ほおずき絆の会」と連携して、ほおずき製作のお手伝いをしています。今回、ほおずきを使用した飴「ほっぺあめ」のメインキャラクターのネーミングをするという形で商品開発に携わりました。今後、とねっこの湯やいずみ食堂で販売される予定となっていますので、ご賞味ください。



1年生 大学訪問

10/9~11 授業公開週間

10/28 ~ 11/1 2学年見学旅行

11月 後期中間考査 11/21~

10月

11月